

1. 件名：OECD/NEA WGELEC のワークショップに係る面談
2. 日時：令和5年8月24日(木)9時00分～9時50分
3. 場所：オンライン
4. 出席者

原子力規制庁

審査グループ実用炉審査部門

義崎管理官補佐

福原管理官補佐

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

皆川主任技術研究調査官

一般社団法人原子力安全推進協会：1名

MHI NS エンジニアリング株式会社：2名

#### 5. 要旨

経済協力開発機構/原子力機関 原子力施設安全委員会(OECD/NEA CSNI)では、原子力施設の電気システムに関する安全課題の調査・研究を所掌する電気システムに係るワーキンググループ(以下「WGELEC」という。)が設置されており、原子力規制庁(以下「規制庁」という。)の職員がメンバーとして参加している。WGELECでは、2022年4月より、「設計基準外事象のための電気システムの設計、設置及び運転」(活動7)及び「電気システムにおける磁気誘導電流の管理事例」(活動8)を実施しており、これらの活動では、①各国の事例等のアンケート調査、②ワークショップにおける議論、③収集情報の分析及び報告書作成を行う計画である。これまでに①が終了し、②のワークショップを本年11月に英国で開催することを計画している。ワークショップでは、産業界、規制機関、技術支援機関等が参加して、活動7及び活動8に係る各国の取り組み等について、発表・議論が行われる予定である。今回の面談では、WGELECメンバーである規制庁及びMHI NS エンジニアリング株式会社から一般社団法人原子力安全推進協会(以下「JANSI」という。)に対し、同ワークショップの概要、発表プログラムの調整状況等を紹介した。また、規制庁からJANSIに対し、同ワークショップにおいて磁気誘導電流に関する検討状況等について発表するよう依頼した。JANSIからは、調整した上で別途連絡する旨回答があった。

#### 6. その他

資料：なし